

6-11

ショートステイから見える在宅福祉・介護保険の今

ショートステイに関する現状調査結果をもとに

ショートステイ

在宅福祉

センター部会 ショートステイのあり方検討委員会

※キーワードは必ずご記入下さい。

| | |
|--|---|
| ショートステイのあり方検討委員長 繁田 正人 新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 5 階 | 外池 永尚、比嘉 登美枝、森田 佳子 ショートステイのあり方検討委員会 委員一同 |
|--|---|

| | |
|--|--|
| TEL : 03-3268-7172 FAX : 03-3268-0635 | E-mail : kourei@tcsw.tvac.or.jp URL : http://www.tcsw.tvac.or.jp/about/section_senta.html |
|--|--|

| | |
|----------------------------|--|
| 今回の発表の施設 またはサービスの 概要 | ショートステイのあり方を明確にするため、利用者（家族）、居宅介護支援事業所、ショートステイ事業所への調査の実施、情報交換会に向けた検討、ショートステイのあり方に関する提言活動などを実施している。随時、メンバー募集中。 |
|----------------------------|--|

〈取り組んだ課題〉

- 「在宅生活の継続」のために、なくてはならない「ショートステイサービス」についてのアンケート調査を行い、現状を明確にする。
- サービスを利用している本人（家族）の声や願い、ケアマネ・事業所の現実を把握し、より良いサービスのためのあり方や課題を明確にする。
- 前回（平成14年）に実施したアンケート調査との比較・検討を行う。

〈具体的な取り組み〉

- ショートステイ利用者（家族）、ケアマネジャー、ショートステイ事業所、それぞれにアンケートを配布した。利用者には事業所経由で調査票を渡してもらった。

【調査時期】平成19年12月～平成20年1月

【回答数】利用者調査：392人、ケアマネ調査：334人、ショートステイ事業所：258事業所

《中間報告会》

- 平成20年3月24日に「ショートステイから見える在宅福祉・介護保険の今」をテーマとして調査の中間報告と、情報交換を実施した。参加者は、ショート事業所担当者、ケアマネを中心に約120名。

〈活動の成果と評価〉

- ショートステイに対する利用者（家族）の関心と期待は高く、様々な声やニーズが把握できた。
- 前回は実施しなかった「ショートステイ事業所」への調査により、施設サイドからの声や現状を把握することができた。
- 「緊急時」や「医療的ケア」が必要な方の利用については十分ではなく、「いつでも、誰でも、どんな時でも」利用できるショートステイとはなっていない現実があり、改善が求められている。

〈今後の課題〉

- 利用者（家族）・ケアマネ・事業所間の情報の共有化やシステムづくり等の工夫によって、改善される点が多くあることをそれぞれの立場で提案し、協力し合いながら進めていく。
- 利用者（家族）、ケアマネともに「緊急時」利用ができる現実に不安感が強く、また受入れる施設にあってはリスクが高い現実がある。また、「緊急時」とともに「医療的ケア」「重度認知症」の方々が利用できるためのハード・ソフト両面の整備・充実が求められる。今後、具体的な「施策提言」として具体化していきたい。

〈参考資料〉

- ショートステイの利用に関する「ニーズ」と「サービス調整」の実態調査報告書（東社協 平成15年）

【メモ欄】